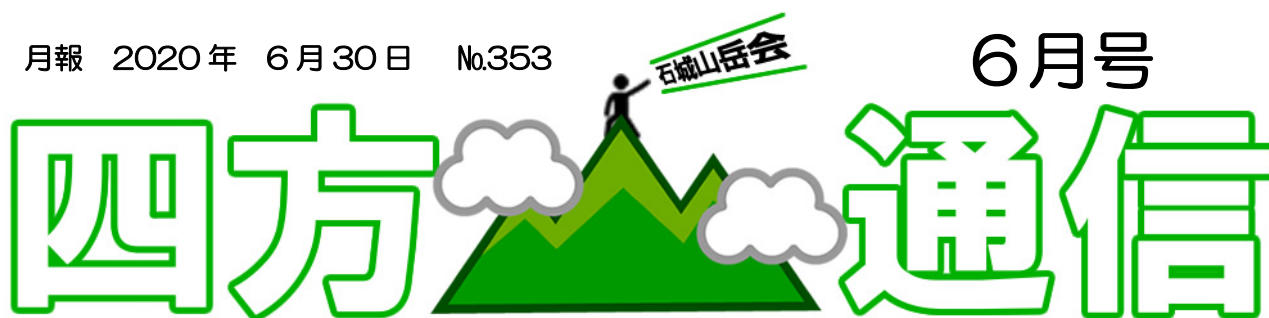


月報 2020年 6月30日 No.353

6月号



石城山岳会事務局編集

三株山 841.2m

竹貫鎌倉岳 668.7m

入道山 686m

大辻山（オオツペヤマ）(734.1m)

犬仏山（767.0m）

大黒山（783.6m）

芝山（818.9m

東堂山 667.8m

日影山 879.0m

高柴山 884.1m

大滝根山

赤面山

八方台から磐梯山ピストン

不動沢から家形山ピストン

青葉の岩場 北のエリア

6月登山教室「雨降山(770.6)・大黒山(783.6)」

官沢から往生山

磐梯クワガタソウに会いに行く

矢大臣山 964.4m

神楽山 807.7m

茶臼岳・三本槍岳・朝日岳周回

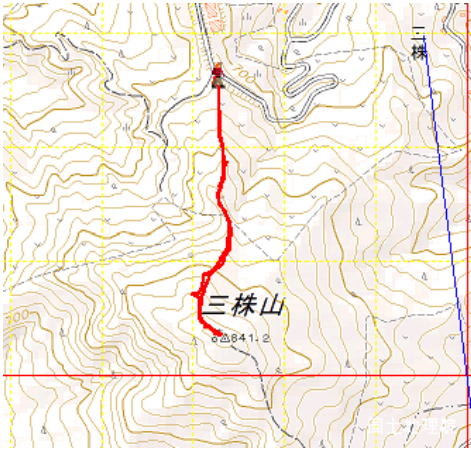
官沢の沢歩きと往生山

田代山・帝釈山ピストン

雄国沼

三株山 841.2m

5月17日 渡辺敏夫



古殿町方面の、三株山、竹貫鎌倉岳、それに入道山に登りに出かけた。古殿町の最高峰で、いわき市の南部の山々からもよく見渡せる山である。中腹に牧場が広がりなだらかな山容です。駐車場から山頂まで片道 20 分程度。山頂には富士見台と称する展望台が設置されて福島県南部古殿、いわき地区の山々を見渡せる。ふもとには、キャンプ場もあるが、現在は新型コロナウイルスの関係で、使用は自粛されているようだ。気持ちの良い春の雰囲気をも十分に堪能できた。

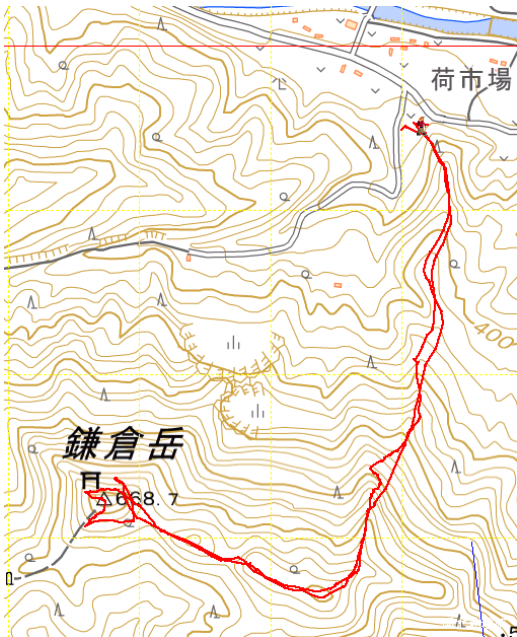


三株山頂富士見台からの北方向の眺め

駐車場から往復 40 分

竹貫鎌倉岳 668.7m

5月17日 渡辺 敏夫



三株山を後に、古殿町の竹貫鎌倉岳荷市場登山口の駐車場に到着。竹貫鎌倉岳は頂上近くに駐車場があり、そこから登ればすぐに頂上に到着できるが、天気も良いので下からの荷市場登山口から登り始めた。はじめは階段のある急な登りを詰めるとなだらかな尾根歩き、時々急登もあるが、高度を上げながら鎌倉岳に続く稜線にたどり着く。そこから上り下りを繰り返しながら、頂上に到着する。神社側から登ったが、急斜面の岩登り気分を味わえるルートでした。山頂からは北方の山々を見渡すことができます。これから目指す入道山の山影ははっきり望むことができ、登る意欲がわいてくる。



コースタイム 登り 1 時間、下り 50 分



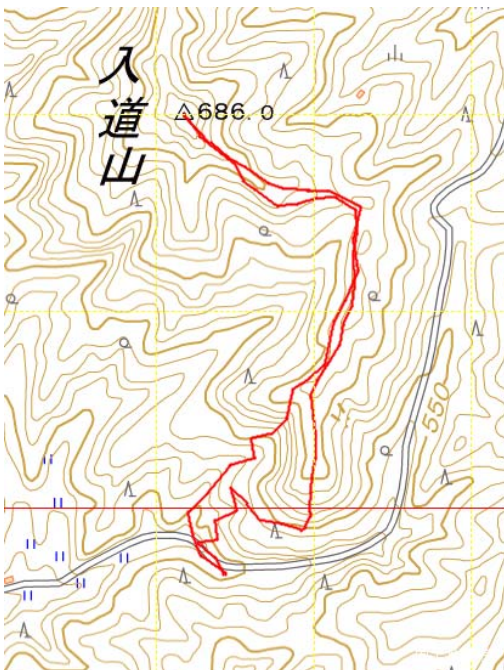
入道山 686m

5 月 17 日 渡辺 敏夫



鎌倉岳から入道山の山容がはっきりと望めました。入道山のふもとにたどり着くも、登山道と思しき跡形はありませんでした。丁度上る地域一帯は山林が伐採されて、その伐採跡をたどりながら、予定していた尾根を登って行きました。尾根通しを進んで入道山の山頂に至りました。道がありませんが、山頂には石仏がりました。昔は麓に暮らす人々と繋がりがあある山であることを感じました。コースタイム 登り 1 時間、下り 30 分

文責 渡辺敏夫



大辻山（オオツペヤマ）(734.1m)

5月17日 渡辺敏夫

大辻山の名称は国土地理院地図には記載がない。しかし、先日竹貫鎌倉岳に登った時、展望版に大辻山の名前があった。60周年記念誌の案内には、登山口到大辻山の看板があるとあるが、私が行ったときにはありませんでした。そして、よく整備された登山道とあるが、うっすらと道の形跡が確認できるところがあるが、ほぼ藪で道らしきものはない。おそらくほとんど登る人がいなく、廃道の状態になっていると思われます。山頂には馬頭観音の碑や数多くの古い石仏が納められているので、昔



は登る人も多かったと想像できます。現在山頂へ行く場合は、林道を少し入ったところに資材置き場があり（関係者以外立ち入り禁止とある）その先から山頂に達するのが藪の心配が少しは軽減されます。山頂からの展望はなし。山頂まで片道 10 分程度。

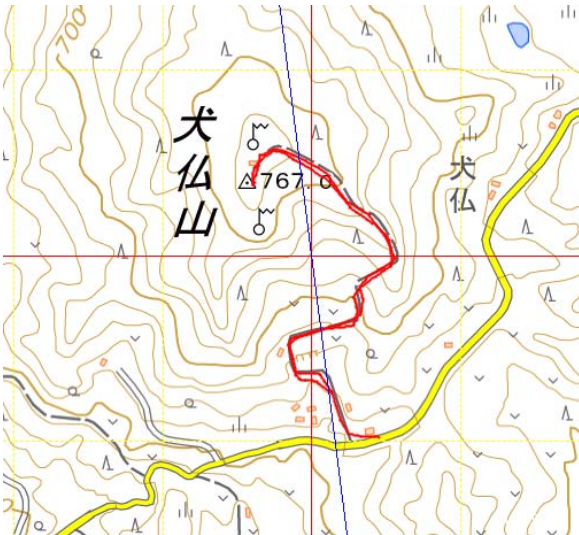


犬仏山（767.0m）

5月17日



同じ古殿町に犬仏山はあります。犬仏山は山頂に東京電力の通信施設と反射板があるので山頂まで車道があります。車は途中止めるところがないので県道の路肩に止めるほうがよいようです。展望もないので登山の対象としては不適です。



大黒山（783.6m）

5月17日 渡辺敏夫



大黒山は犬仏山の北の方角の古殿町にあります。県道の大黒山林道の入口に車を止めて、林道を進みしばらく進むと右側に支線林道がありその支線に入ります。登山道がないので適当なところから尾根に取り付き、藪を漕ぎながら高みを目指して進みます。山頂は風力発電設置のための風力調査鉄塔が設置されていて、頂上一帯は刈払われていました。この辺りも風車が建てられる計画があるようです。登り、下りそれぞれ30分



芝山 (818.9m)

5月17日 渡辺敏夫



大黒山からさらに北には、古殿町、平田村それにいわき市との境界に位置する芝山があります。山頂までは車道が通じ車で山頂に行くことができますが、麓に広い駐車場がありますのでそこから歩きました。山頂には立派な見晴らし台があり、周囲の山々が見渡せます。山頂からは富士見台コースをとると、周回できます。富士見台コースでは芝山観音、一本ブナの見所がありました。途中から両ルートが合流しました。登り、下りそれぞれ 50 分～1 時間程度



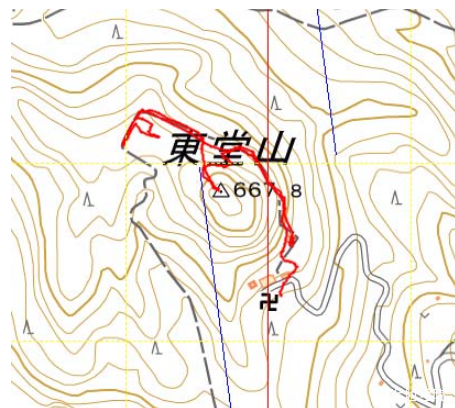
東堂山 667.8m

5月31日 渡辺敏夫

60 周年記念誌で紹介されている東堂山、日影山、高柴山に出かけた。万福寺の東堂山一帯は県立公園となっていて、落ち着いた佇まいである。東堂山は登るよりも、中腹に広がる万福寺の拝観と見学の方がよいようです。山頂は四等三角点ですが樹林の中で、展望なし。中腹にある万福寺には杉の巨木と、いろいろな伽藍それに五百羅漢を見学しながらゆっくり 1 時間、山頂へは最奥の観音堂から遊歩道を百メートルほど進むと左側に山頂へ至る山道が見える。標識なし。



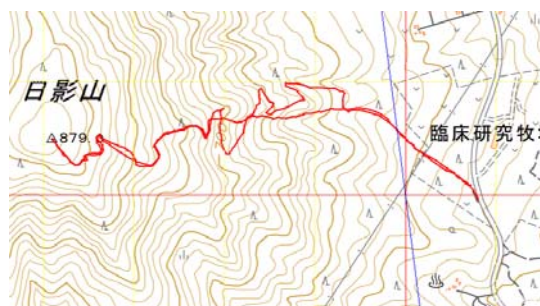
万福寺の羅漢



日影山 879.0m

5月31日

東堂山の北西側にあるのが日影山である。幅の広い車が通れるような道が山頂まで続いているが、道があられているので入口の駐車できるところに車を止めて歩いたほうがよい。スギ林や一部落葉樹との混交林の中を高度を上げながら山頂に到着。山頂は樹林が一部刈払われていて西の方角の展望がきき、矢大臣山が望まれる。



コースタイム 登り約 1 時間、下り 30 分～40 分

高柴山 884.1m

5月31日

高柴山は山頂一帯の山つつじが有名です。登った日は盛りが過ぎて、残った花が一部見られ、1 週間前頃が見ごろのようでした。浮金登山口の最奥に駐車場がありますが、おそらく最盛期は満車で、手前の臨時駐車場から歩くことになるでしょう。臨時駐車場から最奥の駐車場までは歩いて 30 分程度かかるようです。この日は、天候はますます阿武隈山系の山並みが望まれました。



コースタイム 浮金登山口駐車場から登り、下りそれぞれ 20 分程度



文責 渡辺敏夫

大滝根山

2020年5月21日（木）

秋葉・栗崎夫妻・柏村・山縣・狩野・菊池

はじめてのコース。石ポッケから、これまたお初のペラペラ石へ。

下山は、ルートにない？ほとんど人が歩かない？天狗のつぼ山方面へ、、、笑いが止まらないくらいの藪漕ぎコースでした。

途中何箇所か不明瞭、、、㊦ベテランの先生と一緒にないと行けないコースでした。

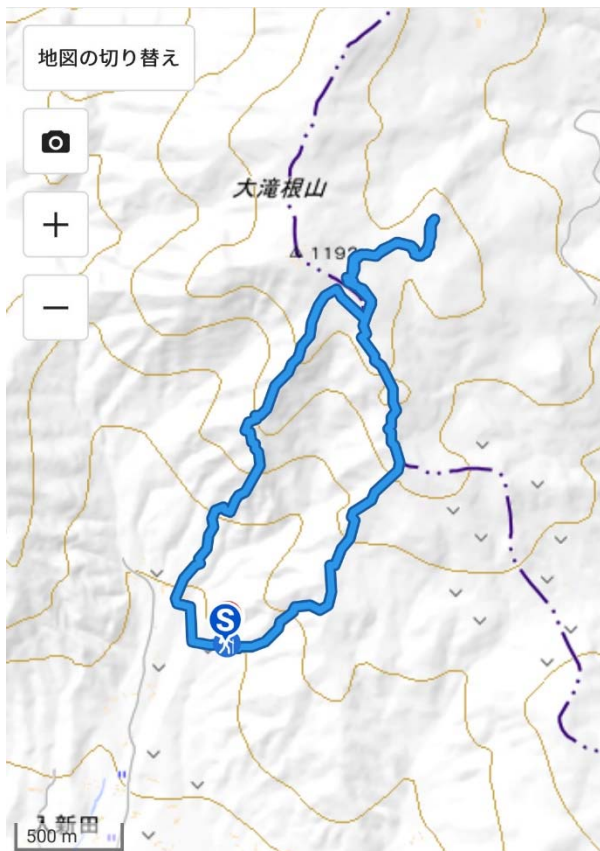
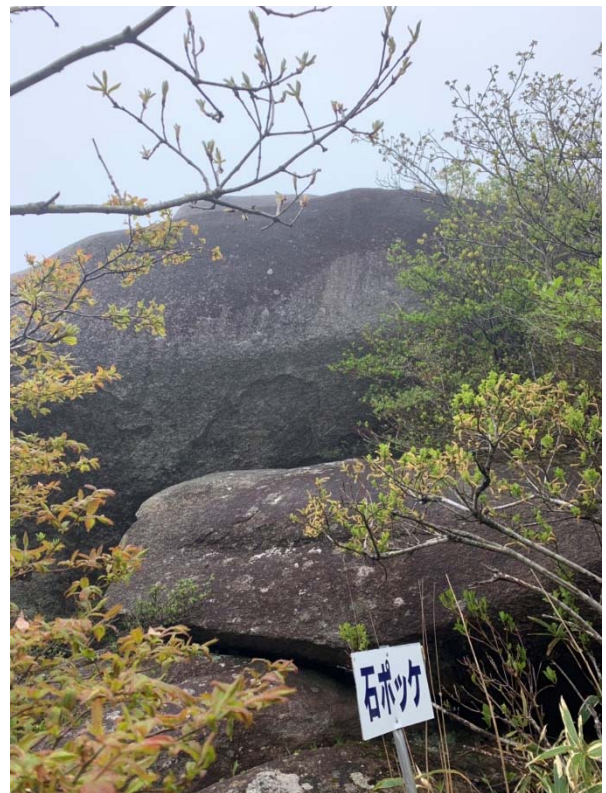
今回は、大滝根山も高塚山も山頂はガスガスで展望良くないので行かないで、ペラペラ石のところではツエルトの講習。

そして下山の天狗のつぼ山ではロープを出して、ロープを使つての下山の練習。

中身の濃い大滝根山でした。

文責 菊池





赤面山

2020年5月30日(土)

菅野・太・山縣・菊地・二瓶・外3

会員ほか、市外の友人・知人とともにシロヤシオ群生地を訪ねようと、西郷町の赤面山を山行。

午前7時30分に赤面山スキー場跡に現地集合。準備を整え、乗り合わせて堀川登山口に移動。登山口は、那須・甲子道路の急カーブ付近なので、見落とし注意。手前の路側帯が広い場所に駐車。なお、赤面山スキー場跡も、堀川登山口もトイレはない。

登山口から少し登ると、鉄階段のあたりで自然の家登山口からのルートに合流。さらに登っていくとシロヤシオが少しずつ増えていき、道の両側に見られるようになる。群生地といわれていたが、今年は花が少ないとのこと。群生地を過ぎるとスキー場跡登山口からのルートと合流。ゲレンデ跡に出ると眼下に堀川ダムが見えた。さらに登っていくと、樹林が灌木や笹となって茶臼岳が見えるようになる。赤面山の山頂に出ると、茶臼岳から大白森まで那須連山がはっきり望め、眼下に鶏峠山、堀川ダムほか西郷村が見下ろせる。せっかくなので、県境近くまで行こうと前岳に登った。那須連山が目の前にそびえる。午後から天気が崩れる予報だったので、引き返して赤面山で昼食。

下山は、スキー場跡登山口へ下ったが、ゲレンデ跡はゴロゴロした石が多く、木陰もないので、距離は長くなるが、樹林を通る堀川登山口ルートのほうが快適だったかもしれない。

文責：太

コースタイム

8:00 堀川登山口→10:30 赤面山→11:00 前岳→12:20 赤面山→15:30 堀川登山口



八方台から磐梯山ピストン

2020年6月6日（土）

太・山縣・菊地・（二瓶2）

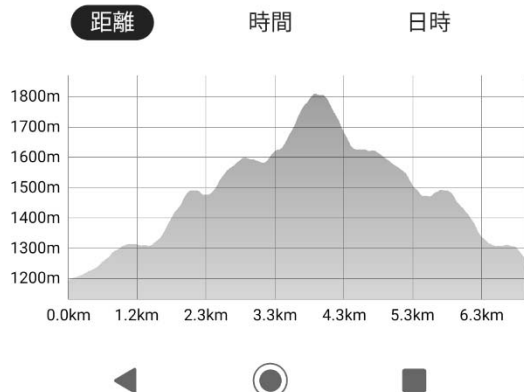
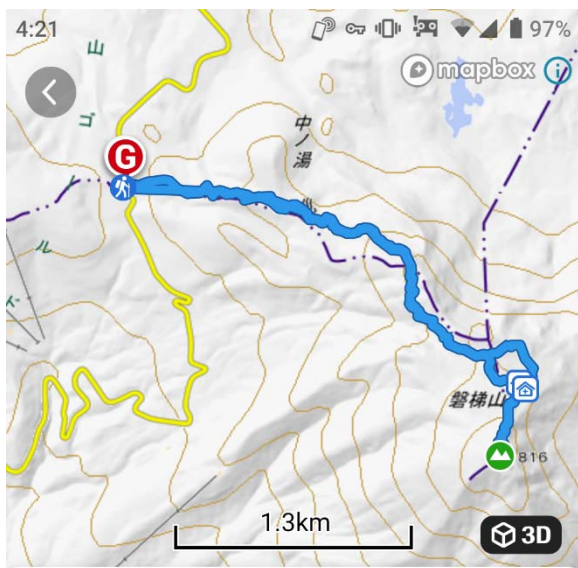
翁島登山口から登る予定だったが、到着時間が早くて、駐車場へ行く途中の「天鏡台・昭和の森公園」ゲートが閉まっていたため、八方台登山口から登ることにした。

八方台登山口の駐車場は、他県ナンバーも見られ、登山口最寄りには満車に近い状態。なんとか駐車して登山開始。中の湯までブナ林の新緑を楽しむ。お花畑分岐の手前で下山してきた二瓶会員夫妻と出会う。下山後に会津に向かうため早めに登ったとのこと。二人に別れを告げ、お花畑を經由して弘法清水小屋。Mont-bell コラボの新作オリジナルTシャツを購入し、ザックをデポして山頂を目指す。たまに薄いガスがかかるが、山頂からの眺めはやはり素晴らしい。下山して弘法清水小屋の前で昼食。翌日の山行を控え、猪苗代町で柏村会員、菅野会員と合流するために、少し急ぎ足で登山口へ戻った。

文責：太

コースタイム

8：30 八方台登山口→9：30 中の湯→10：15 お花畑分岐→10：35 弘法清水小屋
→11：35 山頂→12：15 弘法清水小屋→14：00 中の湯→14：20 八方台登山口



不動沢から家形山ピストン

2020年6月7日（日）

菅野・太・柏村・山縣・菊地

沼尻から安達太良山ピストン予定だったが、前日登った磐梯山の弘法清水小屋で聞いたところ、登山口閉鎖中とのことで、魔女の瞳を覗き込もうと、家形・一切経方面に行くこととなった。ルートは、火山活動や大雨被害などのために浄土平からは行けないので、距離は長いが不動沢から目指した。

午前8時すぎ到着だが登山口駐車場は満杯。相変わらず県外ナンバーは少なくない。少し離れた不動沢橋もと、つばくろ谷駐車場を利用した。水洗の公衆トイレもあるが、便器は和式である。

登山口駐車場の端から樹林に入ると、すぐ小川を渡る。その先は、よく整備されていたが、滑りやすい赤土系の登山道が続く。流れた水で深く掘られた箇所も多く、曇天ながら雨には遭わず幸いであった。道は、大根森を過ぎた五色沼の畔まで、ほとんどが上りで、樹林の中を延々と進んでいく。大根森で一時的にだが視界が開けたときには、ほっとした。

ザレた五色沼の畔を下って登り返し、笹やハイマツをかき分けて、急斜面を過ぎると家形山。眼下の五色沼の眺めは格別である。雪が少し残る一切経山の北壁の下、湖面は雲の間から光が差し込むたびに、様々な色彩、表情を見せてくれる。五色沼、魔女の瞳とは、よく名付けものだ。浄土平からのルートが再開されたら一切経山経由で、また来ようとなり、昼食後なごり惜しみながら下山した。

途中、休業の慶応山荘に立ち寄ると、数人の男性が山小屋の保守作業をしていた。

文責：太

コースタイム

8：40 不動沢登山口→9：20 賽河原→10：00 井戸溝→10：30 慶応山荘分岐→11：00 大根森→12：20 家形山→13：45 慶応山荘→14：05 井戸溝→15：30 不動沢登山口



青葉の岩場 北のエリア

2020年6月7日（日） 秋葉信夫、長谷川裕、小林憲児、那須原純平

8日（月） 秋葉信夫、栗崎透、栗崎容子、吉田睦

いわきの岩場はニッ箭山、丑ノ倉、青葉、第2高倉山などがあるが、私たちの実力ではチョット難しいルートが多く、中々足が向き憎かった。クライミングジム「ジャングルム」で、元石城山岳会員の小林さんから青葉の岩場「北のエリア」を教えていただき早速出かけてみた。

懸垂下降、登攀、ブリッジブルージックによる登り返し、横向き8環による登り返し、チロリアンブリッ

ジ等を行った。

新たに開発された岩場で、私たちでも十分楽しむことができました。是非トライしてください。

旧6号線から常磐線傾城踏切を渡り、常磐共同ガス所の信号機を右折、市道「日渡～白水線」を進む。公園の沼の傍にある東屋の所から沼と反対側の東斜面「しらうめの路」を目印の赤テープを辿って行くと10分位で岩場に着く。



ルート（トポ）図はホームページ（「いわきの山々」に掲載）を見てください。

（文責：秋葉信夫）

6 月登山教室「雨降山(770.6)・大黒山(783.6)」

2020 年 6 月 14 日(日)

初めてで雨降山と書いてテンキチョウと読める人はほとんどいないと思いますが、梅雨の合間に登る山にはぴったりの名前です。6 月の登山教室は雨降山と大黒山に登りました。室内講習で習った地図とコンパス、地図アプリの使い方の実技もおこないました。

雨降山に登る前に簡単にコンパスの使い方、ジオグラフィカ設定の説明をうけてから登山を開始、登山ルートは室内講習で各自が予想したルートと実際のルートはどうか、地図と実際の地形はどうなっているか、地図の記号は何を表しているか(針葉樹・広葉樹)、地形に特徴がある場所での現在地確認など、地図とコンパスの使い方実技をおこないながら登りました。山頂手前には風況観測塔が設置されており近々風力発電機が建設されるとのこと。山頂につくと目印は木に打ち付けられた山頂プレートと三角点でした。

大黒山の登り口は道路脇の傾斜にありました。この山も山頂には風況観測塔が設置されており、そのためかやはり目印は木に打ち付けられたプレートと三角点でした。山頂にて昼食タイム。下山の途中ではロープ研修(足場が悪い急斜面をロープを使って降る研修)もありました。

登山の途中雨も降らず天候に恵まれ有意義な登山教室でした。

タイム

雨降山登山口 8:45→風況観測塔 9:20→雨降山山頂 9:30 9:40→雨降山登山口 10:15

大黒山登山口 10:35→大黒山山頂 11:00 (昼食) 11:50→ロープ研修→大黒山登山口 12:45

(文責：山中)



「官沢から往生山」

2020 月年 6 月 16 日(火)

山名 往生山

参加者 秋葉、吉田、栗崎(透)、栗崎(容) 計 4 名

入遠野川の支流の官沢を詰めて往生山に登った。

往生山の下山口近くの天王に車をデポ。

官沢に沿った林道の車止めから歩き始める。

沢に降りる前に砂防堤を高巻きする。いきなりの急登で早速ロープを出す。秋葉さんのビレイで全員無事に登り、腕がらみで沢に降り立ちここから入渓する。

砂だまりがあり、見た目の水深よりも足が沈み、いきなり膝上の洗礼を受ける。

この先は、水量も傾斜も程よい溪が続く。天気が良く、木漏れ日が溪をキラキラと輝かせる。

初おろしのフェルト靴はしっかりとグリップして、グイグイと岩の上を進むことができる。

楽しい〜〜

4・5m の滝を右から左から高巻きし、ロープを出したり、スリングでお助けひもを垂らしてもらったり、一つは滝の水流の横を直登する。

滝下の釜と釜の間の水流があるところを渡る時に、吉田さんをロープで確保していたが、見事に釜にダイブ！

楽しい〜〜

往生山の真北まで官沢で回り込んで、支流を往生山直下のコルに向けて詰める。細い沢がいくつも枝分かれしていたが、慎重に登る沢を見極めて登って行く。が、最後の詰めを誤って、転げ落ちそうな無木立の斜面を攀じ登る。やっと山頂直下の登山道にでる。

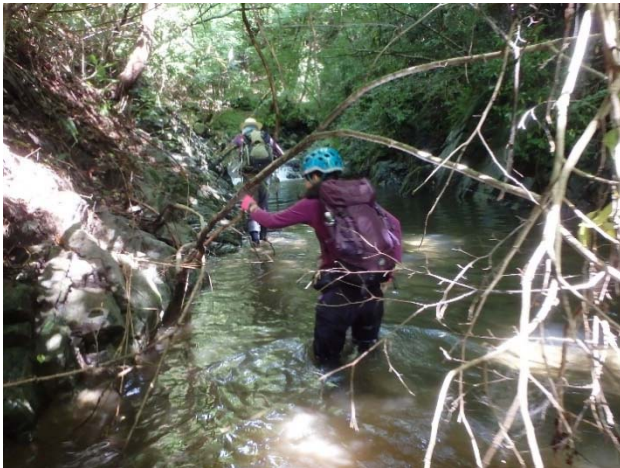
楽しい〜〜

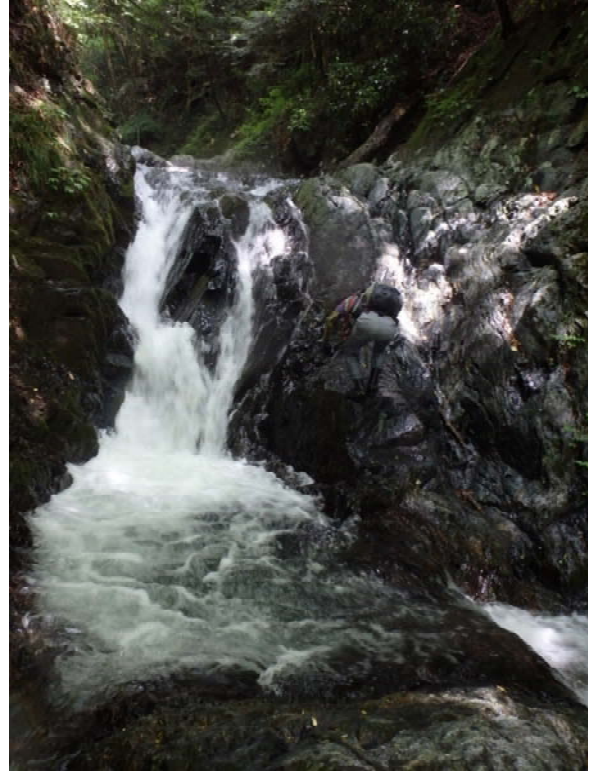
下りも、尾根の途中から沢に降りるが、あまり良い沢ではないので、しばらくして、いつもの林道に合流して下山する。

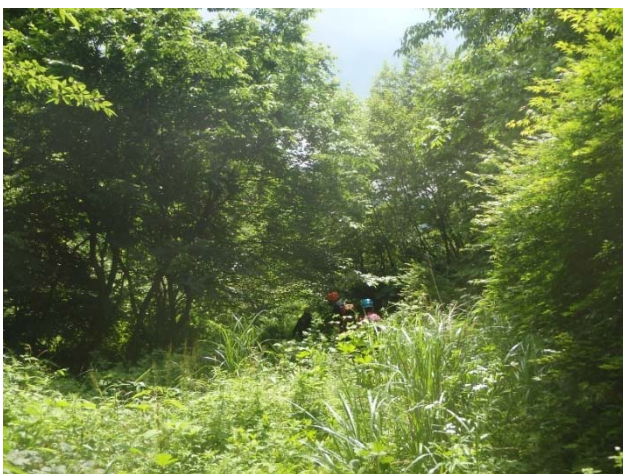
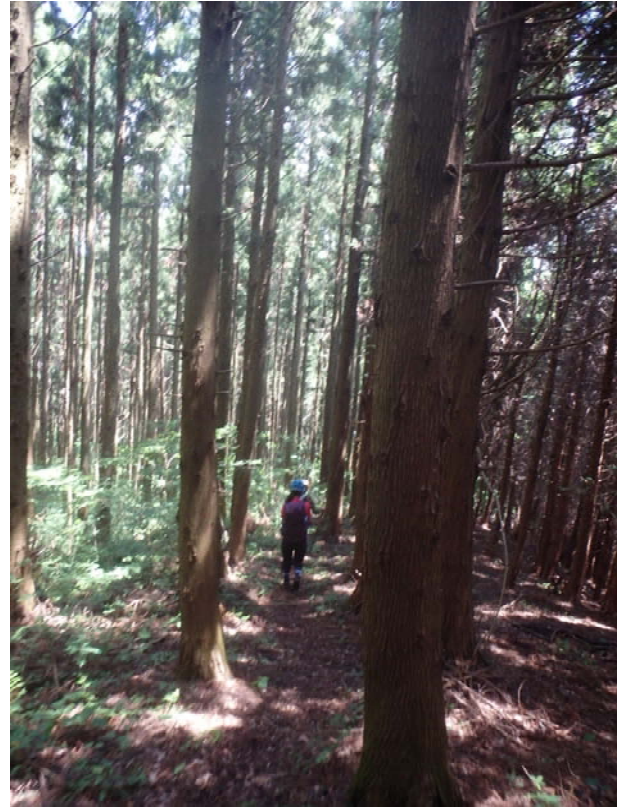
スタート 8:30～山頂 11:50～下山 14:00

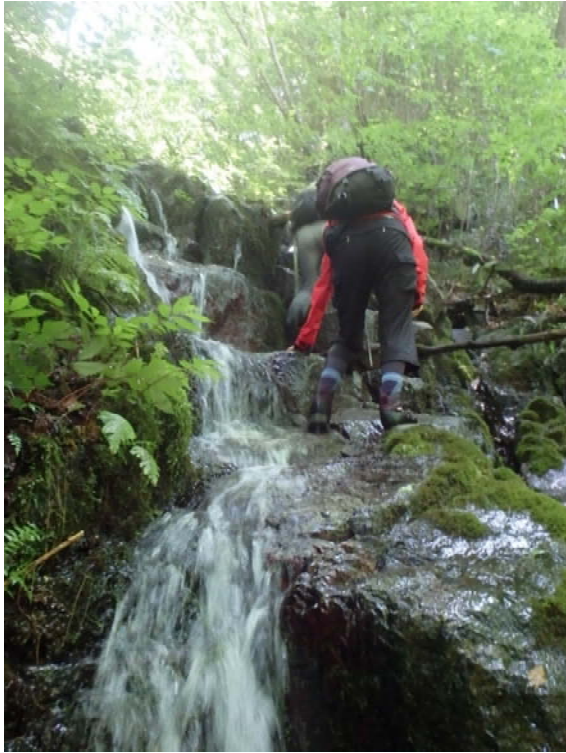
(文責 栗崎 透)

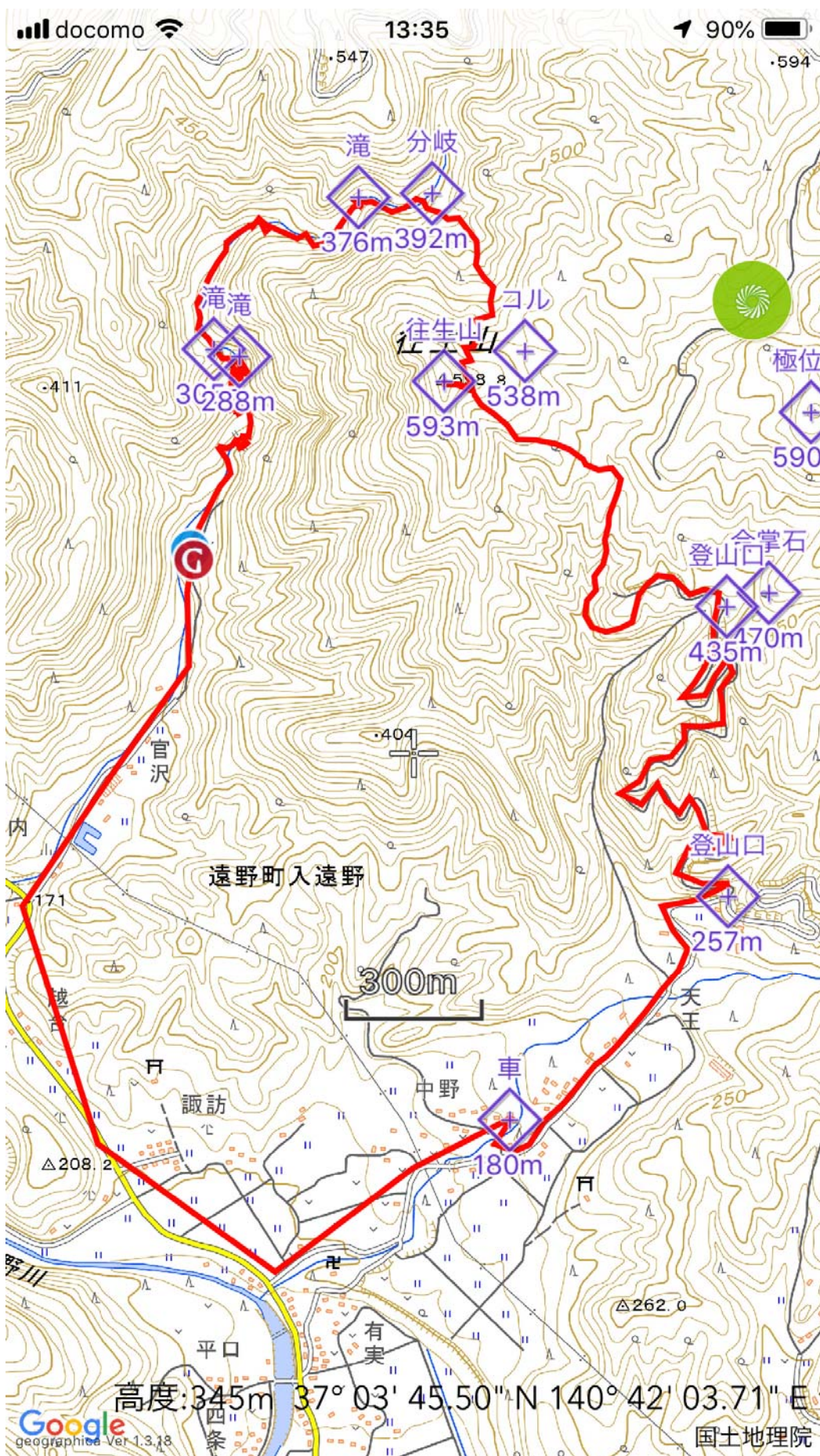
以下、写真とトラックログです。











磐梯クワガタソウに会いに行く

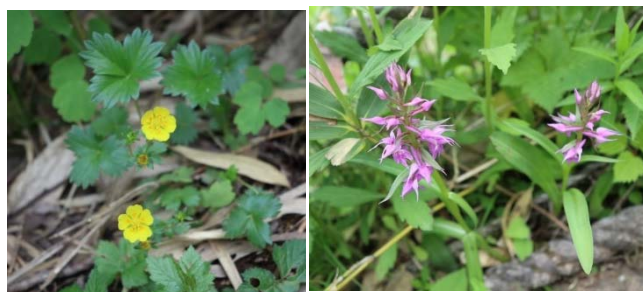
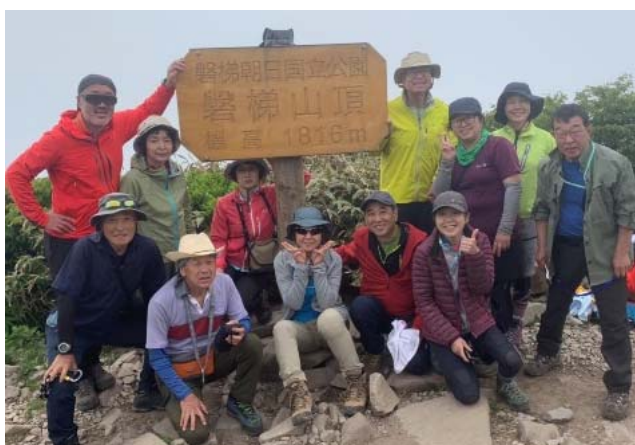
2020年6月18日(木)

秋葉信夫、栗崎夫妻、根本一男、柏村夫妻、尾形夫妻、
山縣紀子、菊池由紀子、蛭田一二三、西由紀江

5月28日に茗荷林道から八溝山に登った時にクワガタソウが咲いていました。そういえば磐梯山「磐梯クワガタソウ」という磐梯山でしか見られない特異種があることを思い出した、もう一度見てみたいと咲く時期に日程を設定し、3台に分乗し出かけました。

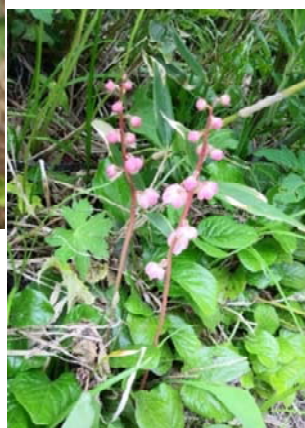
時間をかけて植物ウォッチングをしながら登り、頂上と小棒清水横のお花畑で思い通り「磐梯クワガタ」に会うことができました。

ミヤマキンバイ、ハクサンチドリ、ミヤマオダマキ、ベニバナイ



チャクソウ、グンナイフウロウ、コケイラン等も見る事ができました。

その他にも多くの花を見ることができましたが、いつも見慣れている「ツマトリソウ」をルーペで覗いてみると、花びらが白いラメで輝いており感動しました。



頂上ではレスキュー・ネットによる担架搬送と背負い搬送の練習をしました。



コースタイム

水石トンネル駐車場 7:00⇒8:30

八方台登山口 8:50→頂上 12:00~13:00
→お花畑 13:30→八方台登山口 16:00

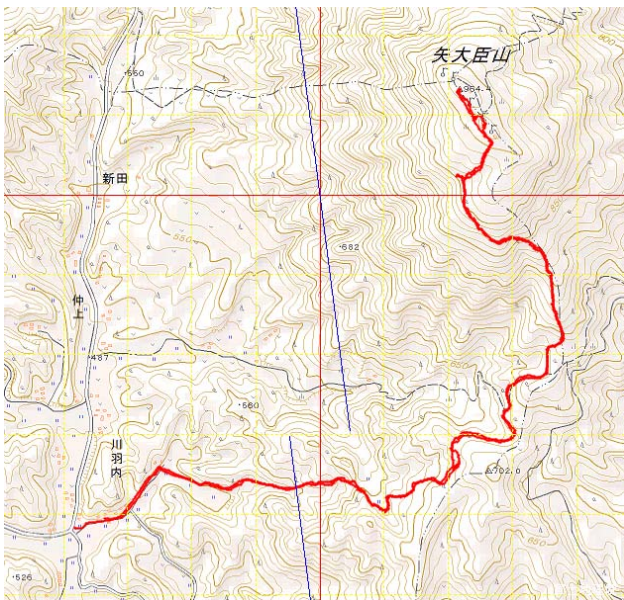
(文責：秋葉信夫)

矢大臣山 964.4m

6月18日 渡辺敏夫



登山道から矢大臣山の山頂を望む



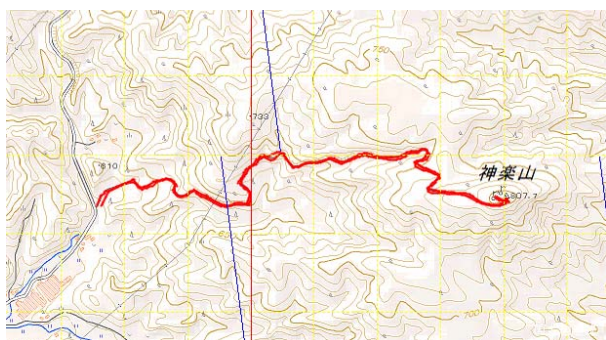
県をまたぐ行動が制限されているので、4月から60周年記念誌で紹介されている中で、これまで登ったことのない山に登っているところです。今日は矢大臣山と神楽山に登ろうと出かけた。矢大臣山の登山口は、小白井登山口、荒屋敷登山口、それに川羽内登山口がある。荒屋敷登山口は現在閉鎖されている。今日は川羽内登山口から登った。このコースは先月の四方山に報告が載っているので、詳細は省きます。6月になると緑の色が濃くなり、途中でゆっくりと昼食をとりながら、木の葉が茂る緑の森の中の快適な登山でした。

登り1時間30分、下り1時間10分

神楽山 807.7m

6月18日 渡辺敏夫

矢大臣を登った後、神楽山の登山口へ向かった。川前地区やいわき市の山間の地区は、



昨年の大雨の影響で道路がいろいろなところで崩れて、通行できない箇所があるようです。神楽山の登山道は、頂上にあるアンテナ施設の管理道路を利用するしかなく、登山を楽しむには不向きな山です。管理道は、入口が閉鎖されているので入口近くの路肩に車を止めて、管理道を入り口から歩き始める。山頂はアンテナ施設や風力発電のための風量調査鉄塔のために水平に切り取られていて、山頂は奥の削

り取られていない高台の一角にある。山頂には三等三角点があるが、写真のように三角点はコンクリートで固められていて、おそらく最初に設置された三角点が、別の場所からここに移設されたのではないかと思います。三角点は藪に覆われていて人が入っている気配はないようです。

登り 50 分、下り 30 分

文責 渡辺敏夫

茶臼岳・三本槍岳・朝日岳周回

2020年6月20日(日)・21日(日)

菅野・太・山縣・菊地・二瓶

新型コロナウイルス感染症に伴う移動自粛が解除されたので、三斗小屋温泉に1泊して那須連山を周回。

那須ロープウェイを利用して、山頂駅からの登山開始。観光客に交じって砂礫の道を登ると、那須高原が眼下に広がる。山頂は、ガスで視界も悪く、冷たい風が強く吹いていた。すぐに峰の茶屋跡へ下り、避難小屋で休憩・昼食。小屋の中は登山客で満員に近かった。

峰から谷に下ると、そこにも避難小屋。見上げるとガスは晴れ、頭上には荒々しい茶臼岳の雄姿。避難小屋から先はアップダウンの少ない樹林の歩き。三斗小屋温泉は大黒屋旅館に宿泊(朝夕食付9800円)。歴史と風情を感じる建物で、風呂は大風呂と岩風呂があり、男女1時間交代で両方とも入浴できる。トイレは水洗式。夕食前後に、参加できなかった方の分を含め、6月生まれ会員の誕生をささやかに祝い。

翌日は納豆、温泉卵、海苔といった和風朝食を取り、樹林の中を大峠に向かう。大峠から三本槍岳までは長く急な登りだが、旭岳や鏡沼の眺望、高山植物に癒される。三本槍岳から移動して清水平の手前、北温泉分岐で昼食。清水平から1900m峰にかけてはガスが晴れ、三本槍岳や朝日岳ほか赤面山方面も眺めることができた。ところが朝日岳に登ると、またガス。雨には遭わなかったが、結局3座とも頂上はガスという巡り合わせ。下山は峰の茶屋跡から峠の茶屋へ下り、那須ロープウェイの山麓駅に歩いて戻った。

文責：太

タイム

【初日】

10:25 ロープウェイ山頂駅→11:25 茶臼岳→12:05 峰の茶屋跡(避難小屋)→12:45 避難小屋→13:00 御沢(橋)→13:20 水場(延命水)→13:35 沼原分岐→13:55 三斗小屋温泉

【2日】

7:05 三斗小屋温泉→7:45 中ノ沢(渡渉)→8:05 峠沢(渡渉)→9:15 大峠→11:00 大峠分岐→11:15 三本槍岳→11:45 北温泉分岐→12:25 清水平→12:50 熊見曾根→13:15 朝日岳→14:05 峰の茶屋跡(避難小屋)→14:50 峠の茶屋



官沢の沢歩きと往生山

2020年6月21日

参加者：秋葉、根本、渡辺（敏）、馬場、芳賀、長谷川、小林 計7名



昨日の初めてのボルダリングで腕や背中も痛い。先月の入遠野川の沢歩きに参加したが、今日は膝上まで水があるので長靴では無理とのこと。どうせ濡れるならと滑りにくそうなスニーカーと短パンで参加しました。

遠野キャンプ場入口の待ち合わせで少し齟齬がありましたが、無事合流して、下山口へ車2台をデポ後、スタート地点へ2台で出発しました。官沢への分岐の少し手前の道路沿いに車を止め、少し車道を歩いてから堰堤の鉄梯子を使って入渓。いきなり水の中をジャブジャブ。水は冷たいけれど寒いという程ではなく、歩いていると気にならない程度でした。



沢の右へ、左へ、水のあるところないところ、歩きやすそうなところを選んで歩きますが、普段の一般登山道より一歩一歩足の置き場を考えないといけなかったので疲れます。途中、小さな滝がいくつも現れ景色は最高でしたが、これを乗り越えるために巻道を登ったり、その手前の滝つぼの淵を渡るときはすごく緊張しました。滝つぼの中を岩を伝いながら歩いている時、思ったより深く胸までザブンとしましたがスマホが無事で良かった。某氏は何回か水遊びしていました。

途中大きな砂防ダムの上には魚（ヤマメ？）が数匹見えました。ここが今日一番深いところだそうで膝の上まで水に浸かり

ながら渡りました。下が砂地で歩き難かったです。

さらに沢を登り、水の枯れた支流を稜線に向けて取付きました。岩がゴロゴロした急斜面で落石しないよう気を付けて登りました。さらに笹の急斜面を、笹を掴みながら何とか稜線へ出ました。ここの急登が一番きびしく、足がつりそうになりました。少し藪を歩いてなんとか往生山到着。山頂から少し下ったところで昼食後、下山しました。

沢歩きは普段の一般登山道を歩くより疲れました。良い勉強になりました。



キイチゴ



スイカズラ



ヨシヤマゴボウ（毒）

スタート 8:35～8:40 沢へ～9:50 大きな砂防ダム(休憩)～11:35 官沢から稜線への取付き～12:20 往生山～少し下りたところで昼食 12:45 下山開始～ 13:40 登山口

（文責：小林 憲児）

田代山・帝釈山ピストン

2020年6月27日(土) 太

今年はワタスゲの当たり年で、湿原一面に咲いているとの知人の情報に基づき、田代山に登った。

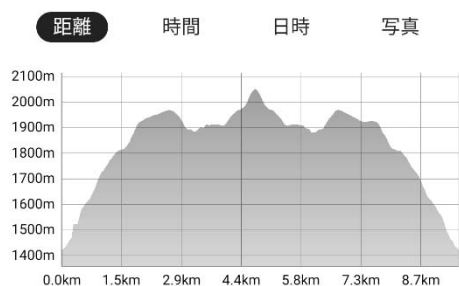
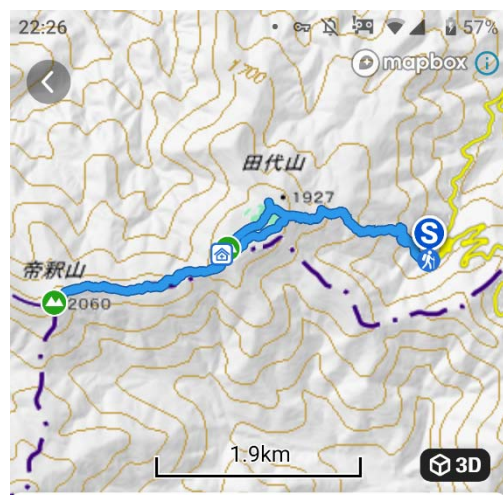
前日午後10時に市内スーパーで買物をしてから出発。翌午前1時半過ぎ猿倉登山口に到着。3時間ほど車で仮眠すると、辺りが明るくなったので行動を開始。なお、参考まで、登山口から少し下の駐車場に仮設ではない公衆トイレがあるので、登山前に利用するとよい。

登山口の看板を過ぎると、小川の橋を渡り、階段の登りになる。登山教室で来たときに、転倒して額に傷を負い、山行をリタイアしたことを思い出す。ゆっくり慎重に登ったが、1時間半ほどで小田代に着く。この辺りからワタスゲが見られ、途中で追い抜かれたソロの女性が写真を撮っていた。田代湿原に着くと、青空の下に見事なワタスゲが広がっていた。彼女の撮影の邪魔にならぬよう木道を逆回り避難小屋に向かう。避難小屋の隣にはトイレ棟があり、清潔な水洗トイレがチップ制で利用できる。インターロッキングの広場のベンチで、朝からひとり焼肉宴会。1時間ほど飲食を堪能してから帝釈山を往復。帝釈山は新型コロナ自粛以来久しぶりの2000m峰で、燧ヶ岳や会津駒ヶ岳、三ツ岩岳ほか一望できた。三ツ岩・窓明の稜線を撮ろうと粘ったが流れる雲できれいに全体を収めることができなかった。

帝釈山から戻ると、再び田代山の見事なワタスゲ草原の風景を惜しみながら下山した。

コースタイム

5:00 猿倉登山口駐車場→6:25 小田代→7:10 避難小屋(弘法大師堂) 8:10→9:15 帝釈山→11:05 避難小屋(弘法大師堂)→11:25 田代山頂→11:50 小田代→12:45 猿倉登山口駐車場



雄国沼

2020年6月28日(日)

伊藤・西・志尾崎・渋谷



雨が降りしきる中、雄子沢へ。

トップシーズンの雄国沼の朝七時の駐車場は、すでに満車となっていた。

素早く身支度を調べ、7時30分入山。

雨が降る森林歩き。雨には雨の良さがあります。緑がとても綺麗で



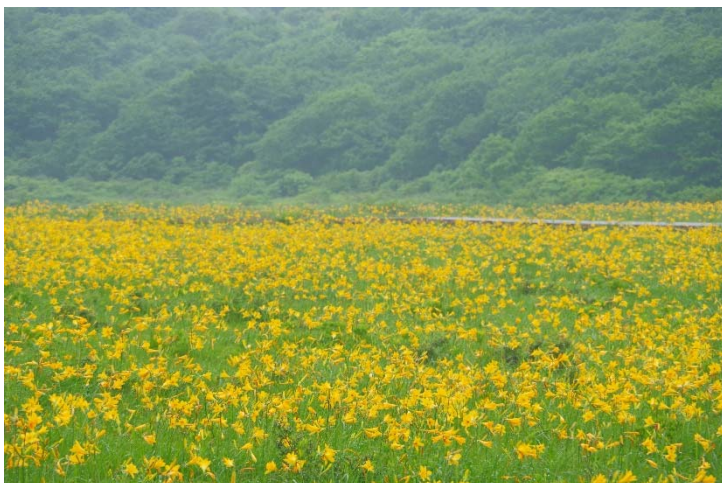
印象的でした。

しかしこの日はとても湿度が高く、合羽の中が雨なのか汗なのかかわからない酷い有様。

可愛い花がたくさん咲いていました。



写真を撮りながらゆっくりと湿原を目指して進みます。9時には小屋に着いてしまいましたが、ここからが本日のメインです。



雑誌でしか見たことのなかった風景にとっても感動しました。



来年は、晴れた日に会いたい。

(文責 渋谷恵美)